

平成 28 年 10 月 11 日

在留邦人の皆様へ

在マナウス日本国総領事館
領 事 部

治安情報「セントロ地区にて発生した集団脱獄事件について」

1 事件の概要

報道によると、10月9日（日）の午後11時頃、マナウス市セントロ地区に所在する刑務所（Cadeia Raimundo Vidal）にて、囚人11名の集団脱獄事件が発生しました。脱獄した内の2名は既に逮捕されましたが、9名は逃亡中で、その中には殺人、殺人未遂、麻薬密売などの凶悪犯も含まれており、現在、軍事警察が一体となって捜査を進めている模様です。

2 総領事館からのお願い

- (1) 報道等により最新の情報入手に努めるとともに、周囲の状況に注意を払い、不測の事態に巻き込まれることのないよう十分注意してください。
- (2) 脱獄犯は現金などを所持していないことが考えられるため、強盗や誘拐などの二次犯罪を犯す可能性があります。銀行から現金を引き下ろす際の周囲の警戒や、可能な限りグループで行動する、大きな鞆は持ち歩かない、外出時は周囲に気を付ける（特に警戒心が緩む帰宅の際は注意が必要）、など十分な注意が必要です。
- (3) 万が一、被害に遭われた場合は、生命の安全を第一に考え行動して下さい。
 - ・慌てず冷静に対処する（急な動作で相手を刺激しない）。
 - ・絶対に抵抗をしない。
 - ・相手の顔を直視しない（抵抗の意味で顔を覚えられたと捉えられる）。
 - ・反撃すると誤解されないように、相手に無断でポケットや鞆などに手を入れない（両手を挙げた体制からポケットに指を指す工夫など）。

以 上